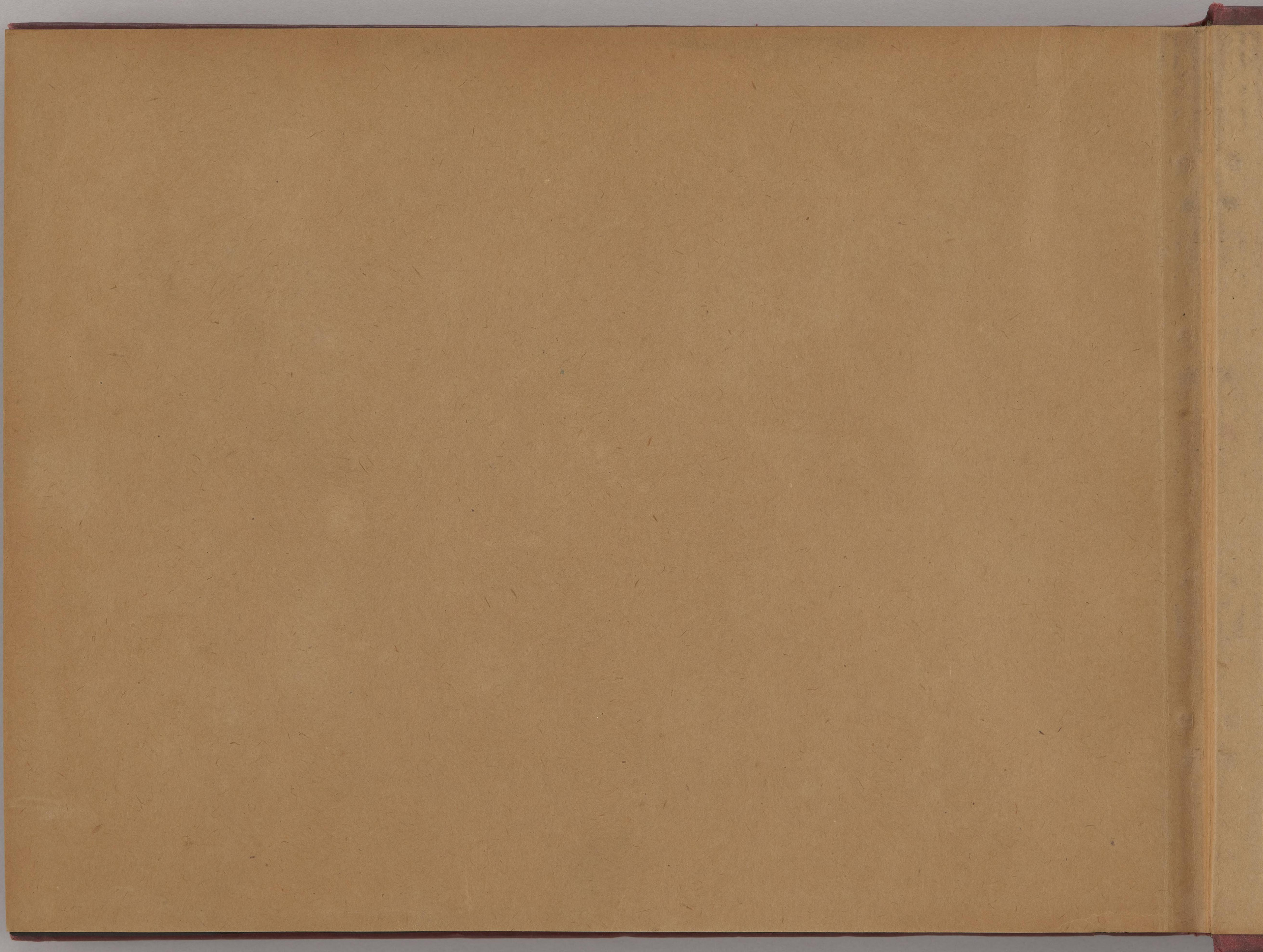
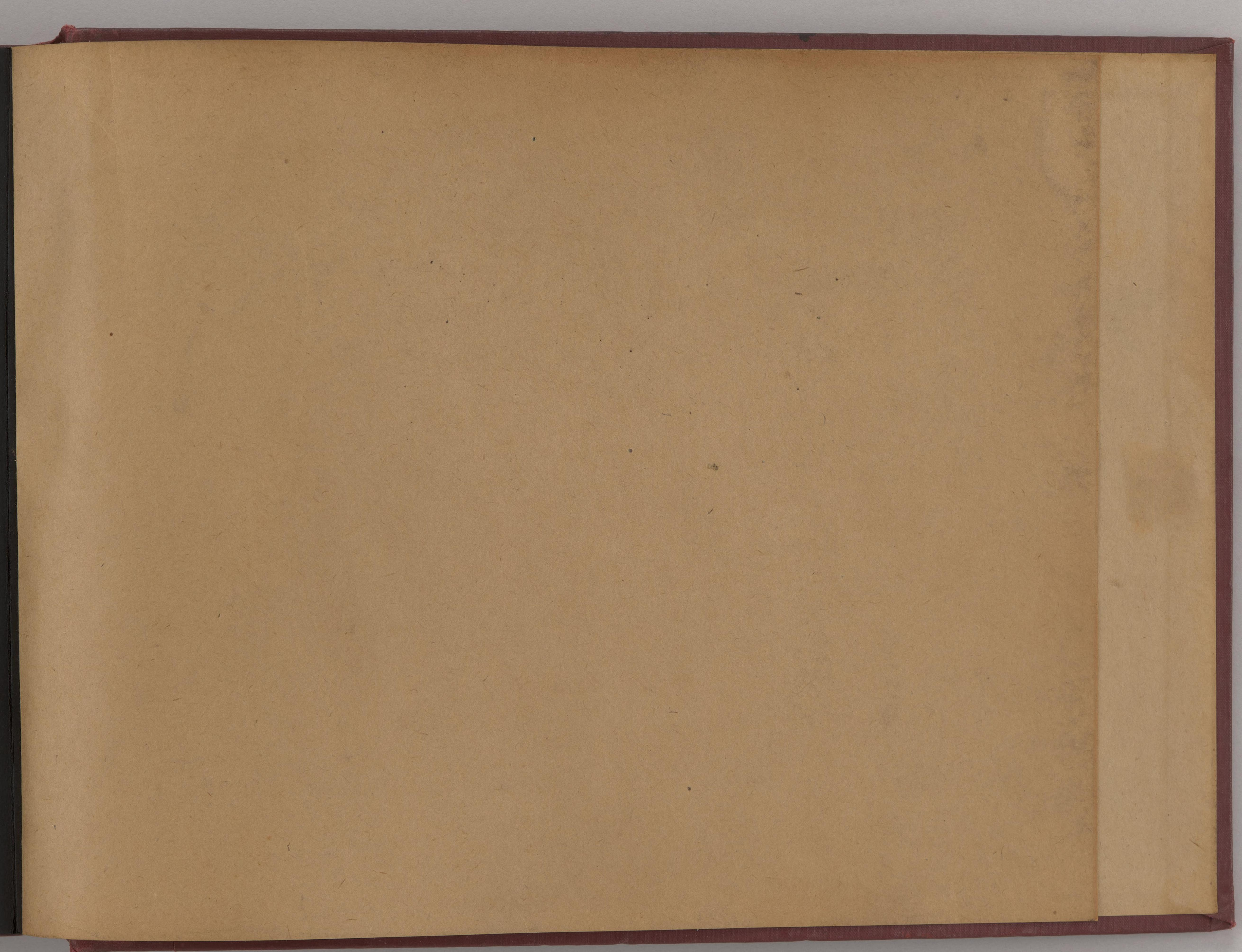


禁電子式複写











◎皇子様方御愛用の玩具

こども愛育長へ御貸下

(東京) 十年十一月一日

畏き邊りでは一日から十日まで高島屋の「こども」愛育展覧會に對し、長くも皇太子殿下を始め、幸り照宮、孝宮、辰宮、三内親王様が御愛用せられた御玩具を御貸下げあり、一般に拜觀を許すことになつた。御貸下げ品は皇太子様御愛用の犬、熊、兎など動物型の獨樂つた器、太鼓、兎の塚物に入つた果物型の獨樂つた器、などで内親王様方の御玩具は御手玉、乳母直の人形、積木、御茶道具、水遊び道具等約百點で皇太子様の御玩具は女性に相應はしいものばかりであるが、何れも尊き皇子殿下の御玩具とは拜されぬ程の御質素な品である。

寫眞は

一、皇太子様の御玩具



新聞聯合 寫眞ニニノス 第二號

◎明治神宮鎮座記念祭

(東京) 十年十一月一日

菊花薫る十一月一日―三日の佳き日、明治神宮では御例祭を催されるが一日は午前八時より鎮座記念祭を執り行ひ有馬宮司以下神宮参殿嚴かに御儀あり終つて一般の拜禮を差し許された。當日は午後八時より熱田神宮遷座式の遙拜式あり三日まで境内は余境に賑ひ少年團の篝火奉仕を行ふ

寫眞は

一、神宮退下



新聞聯合

寫眞ニュース

第三三

◎宇垣總督清浦伯訪問

1 午後高橋藏相と會見！

(東京) 十年十一月二日

宇垣朝鮮總督は二日午前九時四谷の私邸を自動車を出て大井谷垂にある初代朝鮮統監故伊藤博文公の墓地に詣りて同十時大森の私邸に清浦奎吾伯を訪問朝鮮統治状況を説明した後時局問題についても隔意なき意見の交換をなし同十一時辭去したが、午後は二時より高橋藏相と會見豫算編成についての諒解を求め朝鮮統治方針時局問題についても意見の交換の答寫眞は

一、展墓の宇垣總督



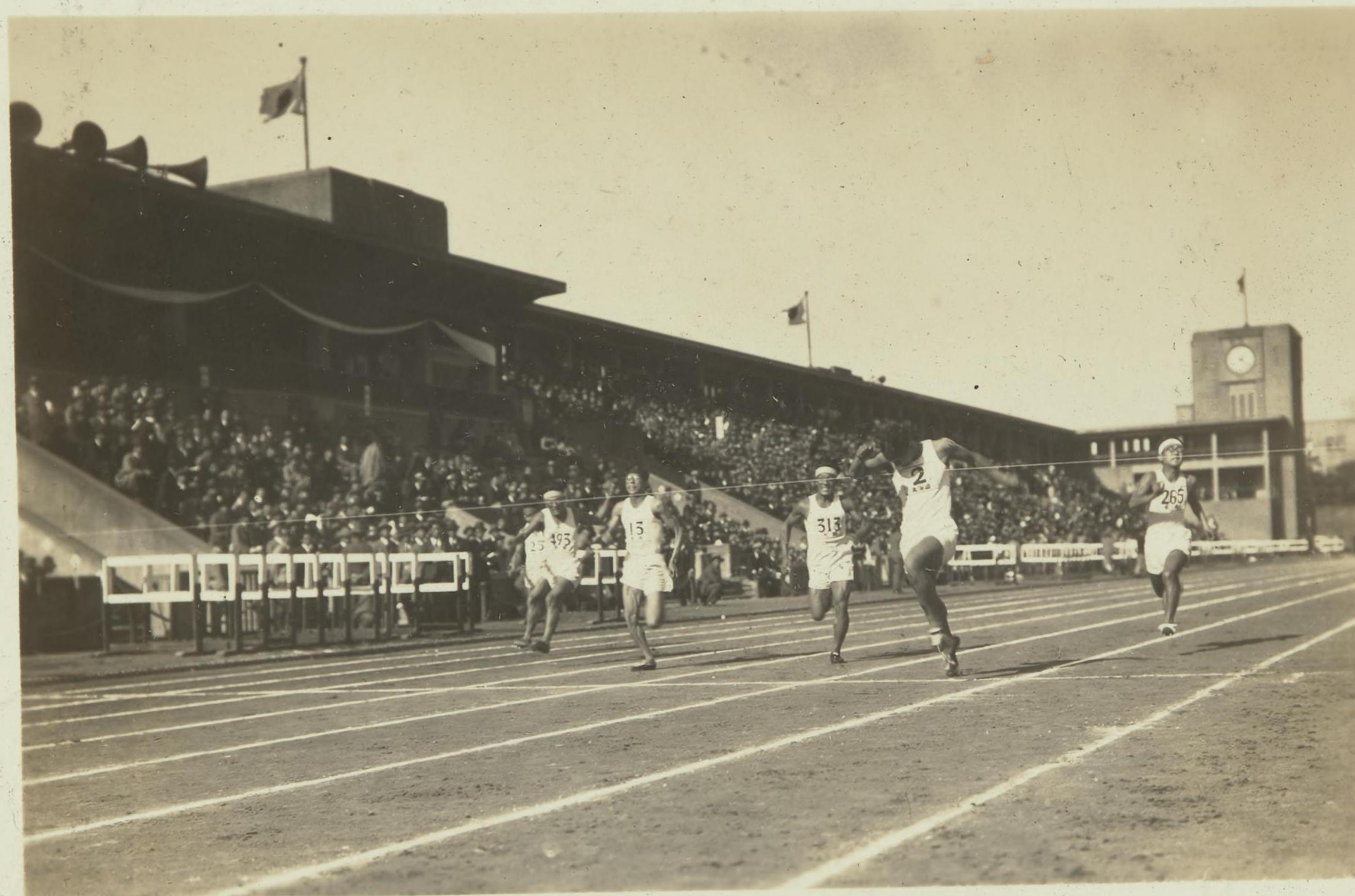
新聞聯合 寫真ニュース 第四號

◎神宮體育大會第五日目

寫眞は

一、ヨット・レース（於品川沖）

一、陸上青年團一〇〇米決勝ゴール（一着堤
武四郎君北海道）



◎明治神宮御例祭

(東京) 十年十一月三日

三日は明治節、明治神宮では午前八時から例祭同十一時から明治節祭を厳かに執行、同九時には畏き邊りから勅使として掌典千種有秀子が参向したが、一日の鎮座記念祭以來参拜者で賑はつてゐた神宮はけふは一層参拜の人々で雜沓、殊にもやうど神宮競技開催中のこととして地方の男女青年團その他が目を惹いた一方内苑では横門左右の回廊に重陽會その他の奉納菊花、各参道苑内の奉納生花陳列等あり、外苑では神宮各種競技が勇壯に展開されてゐるので参拜を終つた群衆は歸途各方面に押し出して神宮の内外は終日嚴肅な中にも大變な賑かさを呈した

寫眞は

一、明治神宮の賑ひ

一、首相以下閣僚参拜







◎圓頂三千の大行進

「第六回佛教大會はじまる」

（東京）十一月四日

佛教興隆の波にのつて第六回全國佛教大會は
四日午前十時から築地本願寺に於て盛大に開
會され全國から馳せ參じた佛教徒約三千名來
賓として岡田總理、松田文相、後藤内相、横
山、牛塚東京府市長（以下全部代理）等數十
名國歌齊唱に次いで大會會長淨土宗管長岩井
智海師の音頭で禮讚文を讀誦、祝辭朗讀の後
午后零時半大會より岩井會長をして天機奉伺
を行はしめると共に一方三千の會衆は大行進
を起し二重橋前で萬歳を三唱した

寫眞は

二本館より



◎花壇の菊花今を盛りに

|| 行幸を待つ新宿御苑

天皇陛下にはいよいよ六日宮城御發聲大演習御統裁のため兩九州行幸を控へさせられて連日御多端にまらせられるが五日は午後二時宮城御出門新宿御苑に行幸、皇族をはじめ内外の臣僚並に各種功勞者等約八千を召され觀菊會を催され、御苑には中菊篠造り、大造り大菊細管、大菊一方造り、丁子菊、肥後菊、一文字、山菊、瑩菊の九つの花壇にいつれも濃郁とを競ひ行幸を御待ち申し上げて居る、中でも丁子菊は御苑特殊の名菊で此度はじめて花壇に設けられ大造りの中では五百八の花をつけた大和錦の新種も見事に咲き揃つてゐる

寫真は

一行幸を待つ新宿御苑

|| 宮内省御賞下 ||



新聞聯合 寫真ニユース 第二號

◎聖上御英姿

―宮内省御貸下



◎御座所に香る菊花の一鉢
一御召艦比叡の準備全く成る

(横須賀) 十年十一月五日

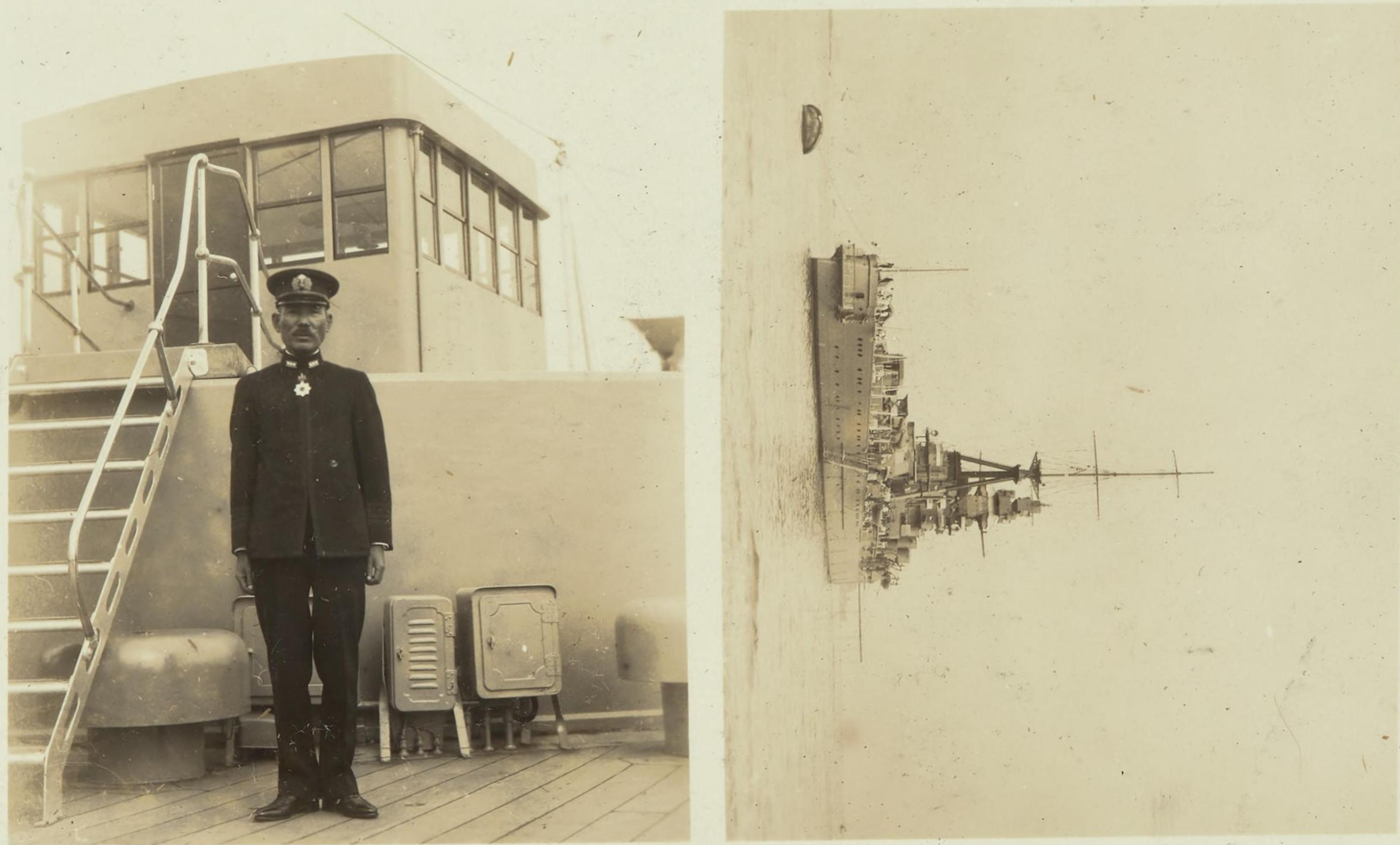
陸軍特別大演習御統裁のため天皇陛下には愈々明六日午前九時廿五分宮城御發聲、同十時四十五分横須賀軍港に御着、御召艦比叡に御坐乗同十一時五十分錦旗を檣頭に高く横須賀軍港を御發航、第六驅逐隊の響、雷、電の三艦供奉して一路鹿兒島灣に向はせられるが晴れの日を待つ比叡ではケピンの貴賓室を御座所に將官會議所を御次室に設け卓上には金襴のテーブルクロスが掛けられ窓のカーテンも新しく聖壽を壽ぐかの如き麗都たる菊花と古雅を誇る松の盆栽を配し御航海中艦上より御展望あらせられる後甲板上の砲塔跡には御展望臺を設け御入浴室や舷梯に至る迄木の香も新しくしつらへ艦内隈なく掃き清められて御準備全く成つた

寫眞は

一御召艦比叡

一御展望臺と大川内艦長

一横須賀鎮守府檢閲濟一



一樓須登鏡守床檢閱濟一

◎大元帥陛下南九州へ御進發

(東京) 十年十一月六日

大元帥陛下には、九日より四日間に亘り南九州へ行はれる特別大演習を御統監、引きつらる。兩縣下御視察の畏き思召しにより秋雨けふる六日寶劍神靈を奉じて宮城を御發轍、横須賀軍港より御召艦比叡に御乘艦、一路黒潮を蹴つて錦旗を西に進めさせ給ふた寫眞は

一、宮城前にて謹寫

一、御召艦横須賀御發航(横鎮貸下)



◎當世學校風景

一 三輪田高女で三味線教授

(東京) 十年十一月六日

麴町九段三輪田高女の塀の外、体操の號令、
リーディングのおきまり學校風景を破つて突
如鮮やかな撥さばきの三味の音「松の緑」の
一節、續いてどうやらこれも三味の音に違ひ
ないがベチャベチャバタンの雜音一トしきり
これは同校家政科生の三味線お稽古第一日六
日午前一時の珍景、教師は稀音家六四郎、雜
音オーケストラの方は生れて始めて撥をとつ
た妙齡の處女十六人と校長夫人繁子先生、何
しろ構へ方だけで一時間もかゝつて終ひ雜音
製作の段になると構へが亂れると云ふ――、
學校三味線は今後益々流行するらしい
寫眞は

一 學校三味線風景



新聞聯合（）寫真ニユース（號外）

◎一縮全權一行送別會

（東京）十年十一月六日夜

岡田首相は六日午後六時より海軍軍縮全權、同隨員送別會を開催、永野、永井兩全權、川島内閣書記官他各隨員、主人側から岡田首相始め廣田、山崎、松田、町田の各大臣、白根書記官長、金森法制局長官、吉田調査局長官等出席、岡田首相は全權一行の奮闘を要望して激勵するところあり晚餐を共にしながら軍縮問題を中心に懇談を交へ同八時散會した
寫眞は

- 一、（中央）岡田首相（左）永野大將
- （右）永井大使の兩全權



◎お正月を待つ羽子板

(東京) 十年十一月七日

「ちやん方やちやん方の指折り數へて待つお正月もアト五十餘日を余すのみとなりました、それぞれの際物屋さんでは今からもう大の忙しさで皆さんにユツクリお正月を楽しんで頂く様にお遊び道具の製造をやつてゐます。氣の早いところでは羽子板をもうお店に出してのます、この寫真はそのデザインの競つかで御覽の様に「スキー」「パリの流行帽」「女子ホツケ」「雛奴」「鼠」「人形使節」「女子スケーター」「送學標語」などで變つた面白いものをドンドン儲つてゐます。寫真は

一、來年の羽子板



新聞聯合 海外寫眞ニュース 十一月八日

◎白波の描く縦縞模様

(サン・ヂエゴ) 發聯合

大演習を終つて當地海軍根據地に集結中の米國海軍一萬噸巡洋艦群が去る十月廿八日の大觀艦式を控へて艦隊陣形運動の演習を練習中寫した壯觀です

×

×

◎紐育市訪問の飛行船隊

(ニューヨーク) 發聯合

アクロン號、メーコン號の巨人便式飛行船を失つていさゝか寂寥を感じてゐる米海軍では最近軟式飛行船に主力を傾倒、四隻の飛行船を建造したが去る十月十七日その飛行船隊の編隊飛行に依つて紐育市を訪問した







二、新聞聯合 寫眞ニュース 第一號

◎下田女史の長壽を祝ふ

(東京) 十年十一月八日

實踐女學校々長下田歌子女史は今年八十歳の高齡を迎へたので同校の卒業生で組織してゐる校友總會では八日午後五時から東京會館で在京會員三百餘名が集まり女史の「長壽を祝ふ會」を催すことになつた
寫眞は

一、授業參觀の下田女史



◎伏見宮博恭王殿下理研台臨

(東京) 十年十一月八日

伏見宮博恭王殿下には八日午後一時小石川區
駕籠町財團法人理化學研究所へ總裁宮として
台臨遊ばされ、所長工學博士大河内正敏子爵
の御先導にて場内各種の物理化學研究室、工
作所等を約二時間半に亘つて御巡視になり、
終つて第一號館所長室に於て鈴木(梅)鈴木
(唐)瀧勝、飯盛他二十三研究室主任に謁を
賜り種々御質問の上有難き御言葉を賜り同五
時御歸還遊ばされた
寫眞は

一、台臨の伏見宮殿下



◎生れてはじめての宮城奉拜

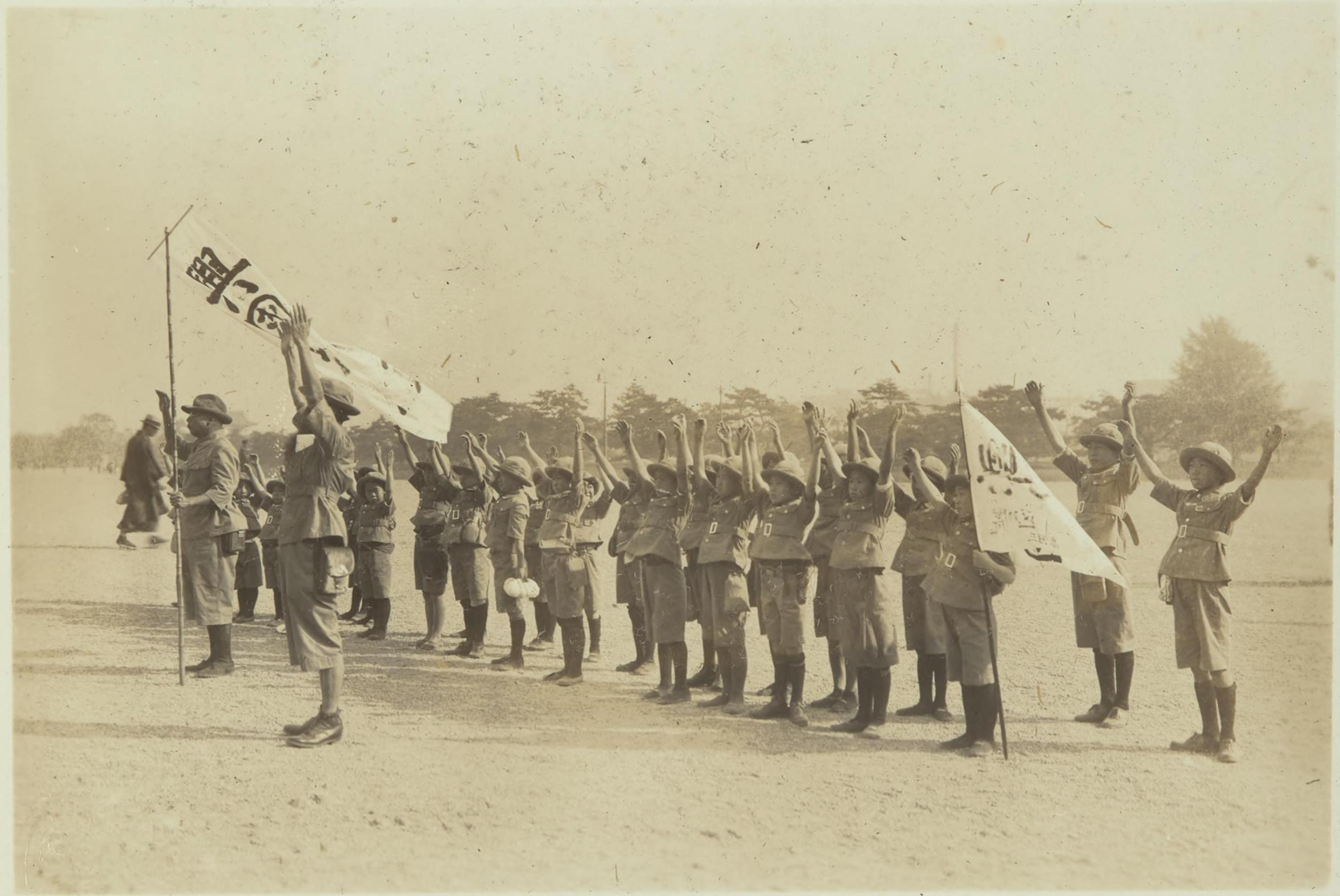
興國少年團が祈處行進

(東京) 十年十一月十日

建物はコンクリートに變つたが相變らずの三河島千軒長屋細民街に去る五日加藤義一氏が「教化は子供から」の信念をもつて創設した興國少年團は次第に團員も増えていまは十歳から十四歳までの少年四十餘名を數へ、團服さへ出來て潑刺と活動を續け近隣に明朗の氣分を吹込んでゐるが團員の中には極度の貧困から帝郷にゐながら宮城奉拜をもなし得なかつた少年も多いので、十日朝團員全部打揃ひ「興國祈願」の旗を樹てて宮城前に行進奉拜し十時半から明治神宮をも參拜した

寫眞は

宮城奉拜の興國少年團一行



新聞聯合 運動寫真 ニュース

◎ オリムピック。フオア豫想

(東京) 十年十一月十日

オリムピック。フオア豫選第三日は十日午前
十時より馬久コースに於て行はれた

寫眞は

一、優勝、早大414

一、決勝レース



新聞聯合 寫真ニュース 第二號

◎外相の軍縮全權招待

(東京) 十年十一月十一日

廣田外相主催の軍縮全權送別午餐會は十一日午後零時半より外相官邸に於て開催、永野大將、永井大使の兩全權を初め外務省、海軍省關係者等出席、歡を盡して散會した

寫眞は

一、軍縮全權送別會



◎科學の粹を誇る
ドイツの快速船入港

(横濱) 十年十一月十一日

北ドイツ・ロイド汽船が極東航路制覇を目指して新造した三船中の第二船シャルンホルスト號(一萬八千トン)が十一日午前十一時半横濱へ入港した。同船はスピード三十マイル軍艦を除いて他に見られぬ快速で滿船總て科學的に成立ち外觀は巡洋艦型だが一本の黄色煙筒は二重となり風の流通を良くする様に裝置してある。エンジンはターボジエネレータで歐洲中央部から四週間で日本に達し得ると云ふ將來日本船に取つて恐るべき強敵である。

寫眞は

一、快速船シャルンホルスト號

◎女子學習院五十年祝賀
けふから六日間の豪華プロ

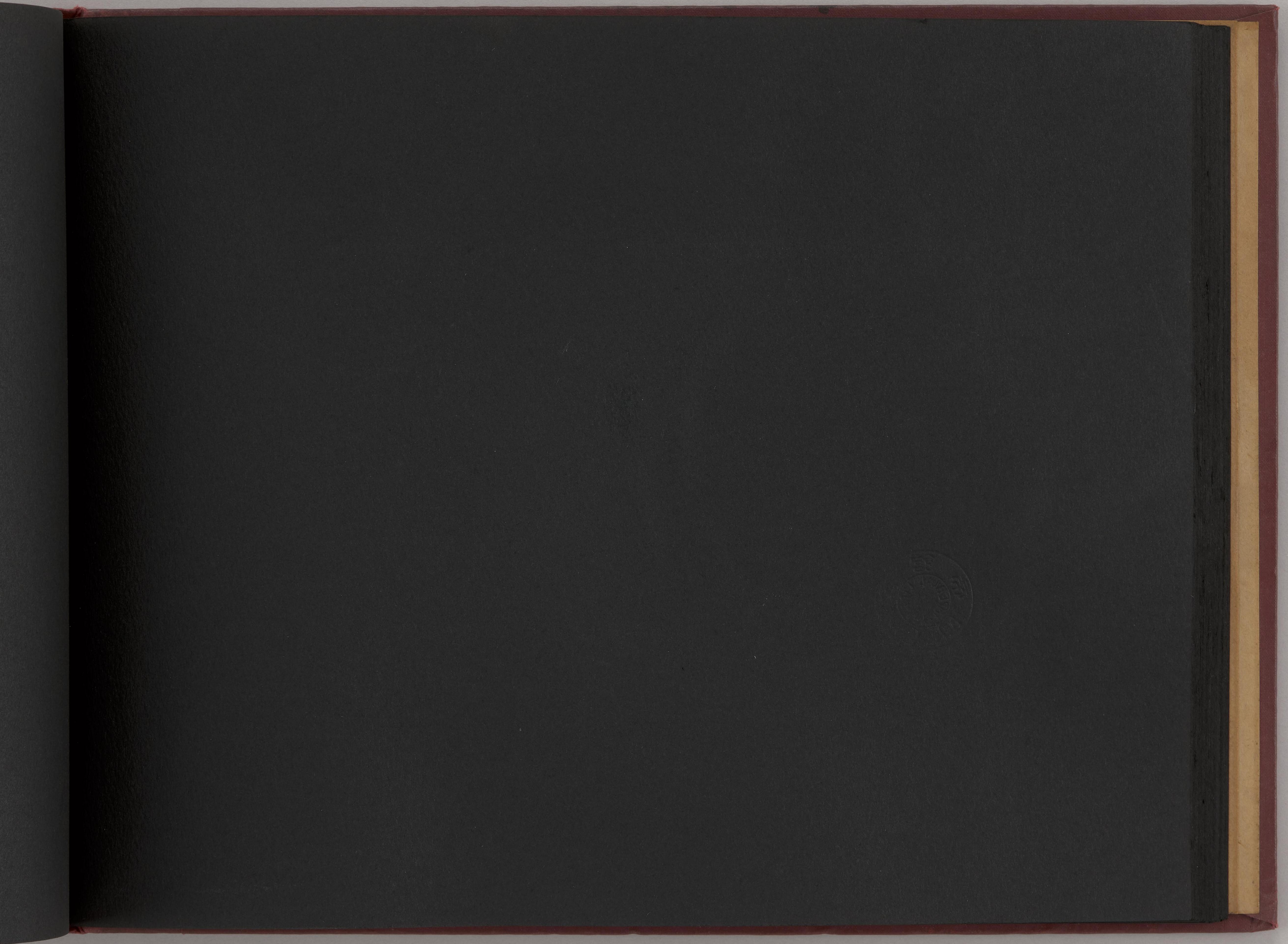
(東京) 十年十一月十二日

明治十八年十一月十三日親しく皇后陛下の行
を仰ぎ開校の典を擧げてから女子學習院は
こゝに五十年の齡を重ね今十二日から十八日
まで六日間に亘り畏くも御名代宮殿下、皇太
陛下の台臨を仰いで華々しく開校五十周年
記念祝典をあげる、その第一日の十二日は午
前九時二十分長屋院長以下約百名の職員並に
七百七十餘名の學生、幼兒、同校前期四年に
在學あらせられる照宮殿下にも久邇宮正子、
同朝子、賀陽宮美智子、朝香宮湛子、北白川
宮多惠子の各女王殿下と御一緒に御加はり
遊ばされ全校打揃つて明治神宮に參拜明治大
帝の神靈に嚴かに五十周年記念の盛儀を報告
終つて長屋院長外學生代表十五名は更に多摩
御座を參拜して第一日を終へた

眞は
一、全校生の神宮參拜
一、照宮様の御參拜



眞は
全校生の神宮参拜
照宮様の御参拜





◎白蓮女史をめぐつて
優にやさしき師弟愛
「短歌學校」と「ま會」生るゝ

(東京)十年十一月十三日
白蓮女史をめぐる師弟愛の結晶が短歌の新し
い會となつて生れた、高柳淳之助氏が經營し
てゐた裁縫、手藝、書道等の學校神田の聖橋
女學院が經營不振のため去る七日解散してし
まつたのでこの短歌の講師白蓮女史に手ほ
どきを受けた生徒「さん松竹少女歌劇のオリエ
津坂等三十八名が折角「みそひ」も「も」を覺
えかけたのにこのま「見棄てられては」といふ
ので十三日午前十時新橋藏前工業館に集まり
先生を招んで「これか」も是非「下」戴きた
「いと頼み込み白蓮女史も「を」快諾、早速
「こととた「ま會」といふ歌の學校「が」誕生、毎
週水曜日十時から「藏前工業館」で講義を開き地
方の會員は通信教授新會員も「お誘ひして盛大
にやりま「せう」と申合せ一同記念のお晝を共に
「し一時頃散會した
寫眞は
一、白蓮女史の教授振り



◎提琴家桂氏を

||ドイツから招聘||

(東京) 十年十一月十三日

半島出身の天才ヴァイオリニスト桂貞植(三二)氏のところへ最近獨乙國立ウイツブルク音楽學校から鄭重な招聘狀が舞込んで來た、桂氏は東洋音楽學校卒業後獨ウイツブルグ音楽學校を昭和二年に卒業瑞西パッセル大學哲學部で修學、朝鮮音樂に關する論文で哲學博士の學位を持つ半島の鬼才、日本に歸つたのは本年三月、去月十一日の日比谷公會堂に於ける第一回演奏會以來慧星的存在となつてゐたものである

寫眞は

一、半島の鬼才桂氏



◎皇太后宮女子學習院行啓

(東京)十年十一月十四日

十三日開校五十年記念式に皇后陛下御名代東
伏見宮大妃殿下の台臨を仰いだ女子學習院で
は十四日は長くも皇太后陛下の行啓を辱ふし
光榮の御前學藝會を催した、この日皇太后陛
下には午前九時十五分入江大夫以下を従へさ
せられ大宮御所御出門、同二十分青山の同院
に御着、御先着の高松宮妃、閑院若宮妃外各
宮妃殿下並に御在學の照宮様始め各女王殿下
と御對面、院長以下に賜謁の上講堂の學藝會
場に臨御、幼兒達の歌ふたいけな唱歌や本
科生、高等科生、補習科生等の演ずる唱歌、
談話、朗讀或は英佛語對話等を終始御興深げ
に聽召された

寫眞は

一、女子學習院前にて謹寫



一、女子學習院前にて謹寫

◎女中さん三月學校開講

(東京)十年十一月十四日

例の好評の女中さん三月學校は大塚市民館にて十四日から第三回目を開講、明春三月廿日まで毎木曜午後一時から四時迄で新しく立派な主婦たるべき卒業生が生まれることになった

寫眞は

一 お洗濯の講習



新聞聯合 スケッチ寫眞 十一月十五日

◎僕等の春

：『七五三のお祝』







◎皇太子七五三の子供祝日

(東京) 十年十一月十六日 皇太子殿下には
健康に御三歳にて晋出度き七五三の祝日を
へさせられたので東京市主催の下に十六日
午後一時から日比谷公會堂で兒童婦人を中心
とする奉祝菊花舞踊大會を開催、遙かにお祝
ひ申上げた。尙愛婦、愛育會では文部省、内
務省後援の下に来る十二月廿三日御誕辰の佳
日を「子供の祝日」として全國的大運動を起
すことになつてゐる

寫眞は

一、奉祝舞踊

奉祝皇太子殿下御下市三五七



◎國民の信頼を一身に

一兩全權晴れの出發一

(東京) 十年十一月十六日

風し乎むロンドン軍縮會議に帝國を代表して
使する永野修身大將、永井松三大使の兩全權
は國を擧げての聲援に送られて十六日午後三
時、京驛發「富士」で晴れの鹿島立ちをなし
た。重い使命に緊張した軍服の永野全權、モ
ーニングの永井全權を圍む見送りの人々には
大 海相、廣田外相以下の在京各相、加藤軍
令部次長、長谷川海軍次官、各軍事參議官以
下の陸海軍將士、重光次官、松平大使以下在
京各大公使の他在郷軍人、國防婦人會等各團
體の人々でホームはギツシリと埋められ中に
永野京子、永井すえ子兩夫人、令息、令嬢等
の何か残り惜しげな顔も見えた

寫眞は

一、出發の兩全權



◎東京市聯合青年團

創立十五周年記念式

(東京) 十年十一月十七日

創立十五周年^を迎へる東京市聯合青年團では十七日午後二時半から靖國神社外苑で盛大な記念式を舉行した、各團は午後二時まで^に所定の位置につき靖國神社に最敬禮により開式、君が代齊唱、令旨捧讀、牛塚團長式辭、感謝狀贈呈、表彰狀授與、來賓祝辭、團歌合唱があり分列式を行つて式を終り直に堂々隊伍を組み宮城前に至り皇居に最敬禮萬歳三唱後散會した

寫眞は

靖國神社前を進行



新聞聯合 寫真ニュース (號外)

◎小三郎氏のレコード吹込み

(東京) 十年十一月十七日

良心的な名人氣質から十數年來レコード吹込みを斷つてゐた長唄の吉任小三郎氏も今度こそは自分の聲を後世に傳へたいといふ藝術家的慾求も手傳つて十六日夜コロムビア吹込み所で名手六四郎氏の三味線で「潮籠」一連後獅子」などを吹込んだ、同氏はこの記念の意味で蓄音器五十臺並に吹込みレコードを滿洲軍慰問のため陸軍省に寄贈手續をとつた

寫眞は小三郎氏の吹込み

左から小三郎、六四郎の諸氏



◎外苑を飾つた

女子學習院體操會

(東京) 十年十一月十八日

女子學習院開校五十年記念の最後を飾るプログラム體操會は十八日午前十時から神宮外苑競技場にて華やかに行はれた。今日ばかりは小笠原流をさらりと捨てた平常楚楚たるお姫様達がスポーツ服も颯爽とトラックにフイールドに近代女性の明朗さを發揮して競技場一杯に人の花を咲かせ五十年記念を朗らかに謳歌して正午閉會した。尙御參加の筈の照宮様はお風邪氣味で御缺席遊ばされたが他の姫宮様には生徒達と御一諸に御元氣に御活躍遊ばされた

寫眞は

一、メイポール・ダンスと遊戲「日の丸の旗」
に御參加の久邇宮朝子女王殿 (右)



◎大演習陪觀を終つて

―于軍政部大臣再び入京―

(東京) 十年十一月十八日

陸軍大演習陪觀を終つて十七日午後三時二十分東京驛着列車で再び入京した滿洲國軍政部大臣于芷山上將一行は來月一日の歸滿出發まで友邦日本の各方面を見學視察することになり、再入京第一日の十八日は先づ明治神宮に參拜後靖國神社に至り護國の英靈に玉串を捧げて弔意を表した

寫眞は

一、靖國神社參拜の于軍政部大臣一行



◎梅幸の舞臺衣裳で

「お蝶夫人」を唄ふ
カズネツオワ夫人

四月以來來朝して日本藝術の研究に餘念なかつた世界的に有名なバリ・オペラ界のプリマドンナ、リア・クズネツオワ夫人の東京に於ける最初で最後の獨唱會が十八日午後七時から日比谷公會堂で久邇宮朝融王同妃兩殿下の台臨を仰ぎ華々しく行はれた、お得意のオペラ歌曲の中に同夫人が漸く入手した故梅幸の舞臺衣裳を纏ひ楚々たるニツボン娘姿で「お蝶夫人」を唄つた時は滿場破れんばかりの大喝采を博し大成功裡に獨唱會を終つた同夫人は近くバリの本場でこの舞臺衣裳の儘日本の幻想を乗せて唄ひおくと意氣込んで居る寫眞は 故人梅幸の衣裳をつけ「お蝶夫人」を唄ふクズネツオワ夫人



◎空の精銳を御感深く合覽
I 皇太后宮立川飛行聯隊行啓

(立川) 十年十一月十九日 皇太后陛下には
我が空軍の精銳を親しく御覽あらせらるる恩
召から十九日冷雨降る中をもいとほせられず
立川飛行第五聯隊に行啓遊ばされた。御徒歩
で飛行場に成らせられた後下田少佐總指揮の
二十九機からなる編隊集團飛行を始め落下傘
投下、特殊飛行、對地攻撃演習、空地連絡編
隊部隊の着陸等空の精銳の展開する數種の秘
術を皇太后陛下には聯隊長以下の御説明で非
常御熱心を以て御覽遊ばされた後御機練艦し
く午后三時三十分原宿驛御着車で太宮御所に
還啓遊ばされた

寫眞は 合覽の皇太后陛下御説
明申上げる 龜山少佐



新聞聯合 寫眞ニニース 第四號

◎伯國大使けふ着任

（東京）十年十一月二十日

駐支公使より榮轉冠任の途にあつた新任駐日
ブラジル大使ペーゴ・レオン・デロワ氏は
は二十日午後二時半入港の郵船太洋丸で横濱
着、直ちに上京大使館に入つた

寫眞は

大使館に
入つた新任大使



◎心も明るく更生の門出

一赤化教員講習會終る一

(東京) 十年十一月廿日

去月廿日から日本文化協會思想部主催の講習を受けてゐた會つての赤の鬪志全國小學校教員十八名(うち東京四名、長野五名、神奈川二名、茨城二名、群馬二名、青森二名、埼玉一名)の終了式が廿日午前九時から麻布龍土町八の日本青年協會で文化協會關係者講習員の外文部省三邊次官、關屋國民精神文化研究所長等三十余名が列席して更生の希望も輝く行はれた

一寫眞は
三邊次官の終了書授與式



◎龍顏に御日灼トへ拜し

御機嫌一入麗はしく

一聖上十六日振りに還幸一

（東京）十年十一月二十一日

去る六日東京御發着皇祖御登祥の地南九州の野に錦旗を進めさせられ陸軍特別大演習を親しく御統裁、併せて鹿兒島、宮崎兩縣下二十四ヶ所に及ぶ地方行幸に具さに地方民情をみそなはせられた天皇陛下には初冬の空澄み渡る廿一日、十六日にわたる御多端の御日程に些かの御疲れも拜せず天機いと麗はしく帝都に還幸遊ばされた

寫眞は

一、還幸函簿（東京驛前にて謹寫）

二、御出迎堵列の第一師團將兵を御指揮の朝

香師團長宮殿下







◎曉、金座の夢を破つて

一 非常時召集演習

(東京) 十年十一月廿二日

廿二日午前三時半頃日本橋區内一帶に時よらぬ非常起床ラツパ!、何事ぞと思ふ間に各戸からパラパラツと何れも軍服凜々しい兵隊が後から後から飛び出して來て明治座を中心に忽ち四千六百名、これは在郷軍人會日本橋區分會が主催の非常時召集演習なのである、人通りのない金座通りで未明の寒氣をついて庶布支部長湯淺大佐の閱兵あり、隊伍堂々濱町公園グラウンドに至つて宮城遙拜、川口日本橋區長の挨拶、湯淺大佐の訓示があつて解散
午前八時三十分

寫眞は

一、令狀受付

二、國防婦人會の焚出し

三、濱町公園で訓示の湯淺大佐







◎天神地祇に新穀を奉る

―新嘗祭の御儀―

(東京) 十年十一月廿三日

皇祖天照大神を始め奉り天神地祇に新穀を奉り給ひ天皇陛下御親らも新穀を聞食し給ふ新嘗の御儀は廿三日夕から廿四日の曉かけ宮中神嘉殿において殿かに行はせられたがこの日明治神宮に於て新嘗御差遣あり有馬宮司以下多數神官奉仕のうちに殿かに御祭典が行はれた

寫眞は

(一) 御差遣の参向

(二) 有馬宮司(先頭)以下神官の退出

新嘗







新聞聯合 寫眞ニュース 第一一二號

◎代々木原頭を埋める中女學生

|| 盛んな神宮奉拜式

(東京) 十年十一月廿四日

東京府主催の第五回明治神宮奉拜式は都下の
中。女學生徒約八万六千の参加を見て廿四日
午前九時半から高松宮殿下台臨のもとに代々
木原頭で盛大に行はれた

寫眞は

- 一、學生軍の参列式台臨
- 二、御巡閱の高松宮殿下

1897



